

こきつぎ保全隊

広島県山県郡北広島町小木次地域一円

【面積】

田 24.4ha

【交付金額】

○農地維持 733千円

○資源向上 439千円

【活動計画】

○草刈 各年3回以上

○泥上 各年1回以上

○景観形成・生活環境保全

清掃活動を実施 8・12月



農地維持の草刈に加えて
綺麗な状態を
少しでも長く維持できるように
防草シートを張っています。
鳥獣害対策では
防護柵と、箱罾設置により
農地を守っています。



年に2回開催する清掃活動には
子どもをはじめ、ボランティアの方など
たくさんの参加があります。
そのほかにも、定期的に
暗渠排水施設の清掃を行っており
泥の詰まりなどを防いでいます。



農閑期には
2ヶ月に1回程度
役員会を開催しています。
施設の破損状況を共有し
補修箇所の優先順位を
決めて計画的に
補修しています。

クリーンアップのぼら

広島県山県郡北広島町今田地域一円

【面積】

【交付金額】

田 21.4ha

○農地維持 644千円

○資源向上 386千円

【活動計画】

○草刈 各年3回以上

○泥上 各年1回以上

○景観形成・生活環境保全

清掃活動を実施 7・11月



農地維持の活動は地域全体で取り組んでいるので常に美しい農村風景を維持できています。

今後のことを考えて

法人の担い手やオペレーターの確保を積極的に行いたいと考えています。



年に2回開催される清掃活動には幅広い年齢層の方が参加しています。同じ地域に住んでいてもふだんの生活では接点がない方とも交流ができる機会になっていて地域コミュニティを深める場として重要な役割を果たしています。



鳥獣害対策は

日頃の点検の結果を踏まえて

鳥獣害防護柵の補修や

農用地周辺の雑木を

伐採しています。

下川東地域活動組織

広島県山県郡北広島町下川東地域一円

【面積】

田 33.3ha

畑 0.1ha

【交付金額】

○農地維持 1,002千円

○資源向上 801千円

【活動計画】

○草刈 各年1回以上

○泥上 各年1回以上

○景観形成・生活環境保全

清掃活動を実施 8月



高齢農家の農用地を法人が集積しています。

しかし、法人自体も後継者が不足しており

人材確保が課題と感じています。

また、水路等の施設の老朽化が進んでいることから

多面的機能支払を積極的に活用して

施設の長寿命化を図る計画を立てています。



自走式草刈機を

活用するなど

作業効率の向上かつ省力化を目指して

試行錯誤しています。

また、遊休農地が発生しないように

休耕地は定期的に耕耘し

いつでも耕作ができる状態を維持しています。



年2回夏と冬に清掃活動を行い

毎回たくさんの構成員が参加を

してくれます。

また、木が休眠期に入る冬に雑木を

伐採し、獣害対策に取り組んでいます。

小笹保全会

広島県山県郡北広島町下石,海応寺地域一円

【面積】

○田 42.1ha

○畑 0.4ha

【交付金額】

○農地維持 1,271千円

○資源向上 762千円

【活動計画】

○草刈 各年3回以上

○泥上 各年1回以上

○景観形成・生活環境保全

芝桜の植栽を実施 6月



30年ほど前から

地域コミュニティの一醸成のため

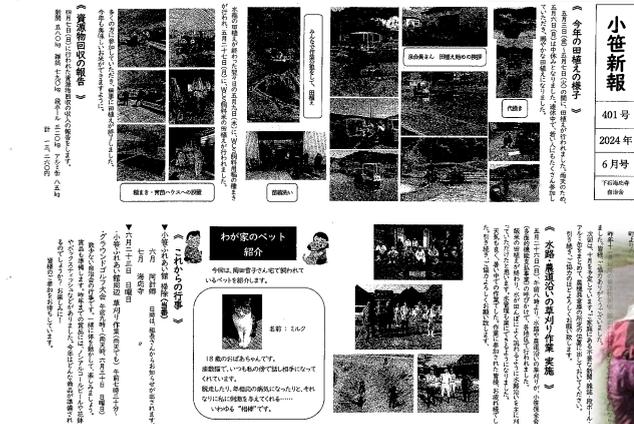
毎月「小笹新報」を発行しています。

写真や記事を通して多面的機能支払の活動や

地域行事、子どもの成長記録を

発信しています。

2024年の5月には400号を



芝桜は小笹新報でも

毎年大きく取り上げており

地域の人からの関心度も高いです。

そのため、芝桜の植栽活動では

毎年多くの非農家の方も参加をしてくれています。

春には活動の合間に弁当を

持ち寄りみんなで

お花見を楽しんでいます。



53人の構成員と5つの団体が

活動に参加しています。

そのうち17%が女性で

役員としても活躍しています。



八重18区資源保全会

広島県山県郡北広島町八重18区地域一円

【面積】

田 17.1ha

畑 0.1ha

【交付金額】

○農地維持 515千円

○資源向上 309千円

【活動計画】

○草刈 各年2回以上

○泥上 各年1回以上

○景観形成・生活環境保全
清掃活動を実施 6月



毎年地元住民にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて、今後の課題を総会で話し合っています。

農家の高齢化が進んでも圃場の維持管理は継続したいが付帯作業が重荷になるという意見が多いのが現状です。

このことから、付帯作業を外部に委託することも検討しています。

春と夏に

一斉草刈をしています。

交付金を有効に活用するため、日当を支払う活動と支払わない活動に区別して上限を決めています。



農地維持活動に参加する構成員は傷害保険に加入するようにしています。

集落内清掃の際に、農道にせり出した雑草を刈るときは保険に加入している構成員に作業をしてもらっています。

別所千坊地域資源保全会

広島県山県郡北広島町本地地域一円

【面積】

田 34.6ha

畑 0.2ha

【交付金額】

○農地維持 1,043千円

○資源向上 625千円

【活動計画】

○草刈 各年3回以上

○泥上 各年1回以上

○景観形成・生活環境保全

花の植栽を実施 6月



農村環境保全活動の一環で芝桜の植栽をしています。

雑草取りや芝桜の補植を行い

毎年綺麗に咲くように手入れをしています。

また、見頃の季節になると幟を設置して

たくさんの方に見ていただけるように

広報活動を行っています。



積極的に活動してくれる

構成員が多い一方、

オペレーターの高齢化など

将来のことを考えると

不安もあります。

地域を担う後継者の育成が

今の課題の一つです。



鳥獣害対策の一環で

雑木や竹伐採をしています。

伐採の作業効率を上げるため

伐採する木や範囲を事前に調査し

計画的に進めています。

本郷環境保全会

広島県山県郡北広島町南方本郷地域一円

【面積】

田 23.5ha

畑 0.1ha

【活動計画】

○草刈 各年2回以上

○泥上 各年1回以上

○景観形成・生活環境保全

花の植栽を実施 6月

【交付金額】

○農地維持 709千円

○資源向上 425千円

○長寿命化 1,039千円



大人から子どもまで幅広い年齢層が参加する、ひまわりの植栽は大切なコミュニケーションの場となっています。

ひまわりは7月頃から開花を始め、

8月には見頃を迎えます。

綺麗に咲いたひまわりを地域内外の方に

広く知ってもらうため、ポスターを

掲示して広報活動をしています。



長寿命化の補修等

工事が行われる前には

役員会を行い、工事計画の確認や

見積書の確認により

地域にとって最適な工事を目指しています。



雑木や竹の伐採を活動しやすい気候となる秋から冬にかけて実施しています。

鳥獣害防護柵の補修や設置は主に春頃行います。

動物たちが活発に活動する前に万全な状態を整えておくようにしています。



大朝広域協定運営委員会

広島県山県郡北広島町大朝地域一円

【面積】

田 380ha

畑 3.9ha

【活動計画】

○草刈 各年2回以上

○泥上 各年1回以上

○景観形成・生活環境保全

清掃活動を実施 11月

【交付金額】

○農地維持 11,500千円

○資源向上 6,896千円

○長寿命化 16,821千円



鳴滝



筏津



女鹿原



岩戸



九門明



アミット



本郷



宮松



別所



小倉里



田原



小枝



茅原

平成30年度に大朝広域協定運営委員会を設立しました。
長寿命化を継続して取組みたい組織で集ったのが始まりです。

現在は13組織と一緒に、活動をしています。

設立当初は事務局の仕事を役場に手伝ってもらっていましたが「自分達のことは自分達でやる」という方針を決定し令和5年度には外部から事務局員を雇用しました。

さらに、事務の簡素化を目指して令和6年度から組織体制を変えました。各組織でそれぞれ活動していたものを13組織が1つの活動組織(保全会)として活動することで事務局で一括管理するようにしました。

保全会になるにあたって活動計画の見直しや単価の統一など解決しなくてはならない問題が山積みでしたが1年かけて何度も話し合いを行い全員が納得のいく形でまとめることができました。

高齢化に対応した組織づくりをしながら自立した広域組織になるように今後も頑張っていきます。

千代田広域協定運営委員会

広島県山県郡北広島町千代田地域一円

【面積・施設】

田 406.0ha
畑 3.0ha

【令和6年度交付金額】

○農地維持 19,583千円
○広域化支援 80千円
○長寿命化 17,926千円

【活動計画】

- 草刈 各年3回以上
- 泥上 各年1回以上
- 景観形成・生活環境保全
花の植栽を実施
清掃活動を実施
- 生態系保全
生き物調査を実施 10月



有間



川迫7区



共栄



須倉

令和3年度に

千代田広域協定運営委員会を

設立しました。

長寿命化を継続して取組みたい組織で

集まったのが始まりですが

長寿命化に取り組んでいない組織にも

広域化の必要性を

積極的に説明しました。

今では、14組織が加入しています。



上川戸



石井谷



南和



川西夢愛



寺原



中山

令和6年度には各組織から数人を集めて

事務局を設立しました。

しかし、事務局運営には様々な意見があり

全員が納得するまで話し合いました。

このこともあって

運営の透明化には一層力を入れています。

また、事務局の後継者育成にも力を入れ

今のうちから組織運営の基礎を

確立させておきたいと考えています。

まずは、事務の統一化を目標に

事務支援ソフトを導入しました。



寺城



川西



川井



栃田

時間がかかるとは思いますが

一致団結して頑張っていきます。